6 作業手順について

(1) リスク評価の考え方

リスク評価 = リスクの大きさを判断すること(定義)

[リスク評価例(I)] ASIAGAP の場合

A 危害の大きさ(重篤性)

× B 農場での発生頻度(確率)

事故が発生した場合の影響の大きさ

〈評価例〉

〈評価例〉

3(重)…過去に自農場で発生した

自農場で危害要因が発生する可能性

3(重)…死亡につながる疾病・事故 法令違反または商品回収

…入院寺か必要な疾病・事故 商品苦情 (影響大)

2(中)…入院等が必要な疾病・事故 2(中)…産地または業界で発生した

I(軽)…応急手当ですむ事故

I(軽)…発生する可能性が考えられる

商品苦情(局所的)

※ リスク評価 9~7(高)、6~4(中)、3~1(低) で重要度を決定

[リスク評価例②] GLOBALG.A.P の場合

※ リスク I つひとつの頻度・重要度を確認し評価します。たとえ被害が小さくても、発生頻度が多い ものについては「重要なリスク」と見なし、危害が起きないように管理します。

(2) リスク評価の洗い出し

①作業工程からの検討 ②環境からの検討 ③労働安全からの検討 その他 ここではリスク評価を検討し、リスク評価を正しく行うためには、防ぐためには、インプット、 モニタリング、フローチャート、トレース、検証、記録、管理、掲示内容などを考えます。

Point

- ① 安全で衛生的な作業を行うために必要なこと
- ② 作業手順・ルール作りの方法
- ③ 作業記録について

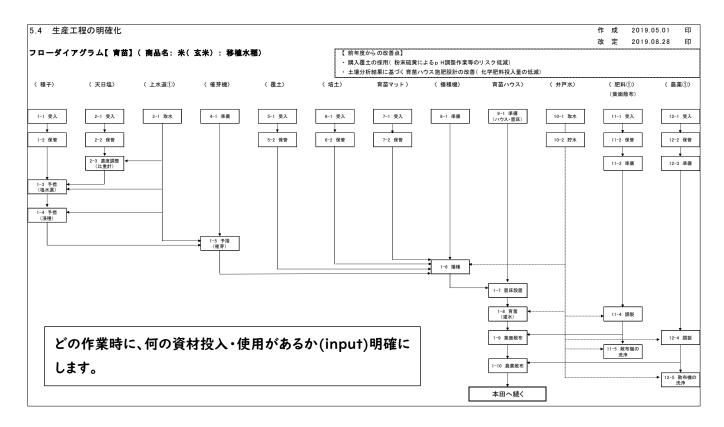
ASIAGAP における管理点

番号 3.3~25

レベル 必須 ~ 努力

管理点 概ね全範囲

(3) フローダイヤグラムの作成

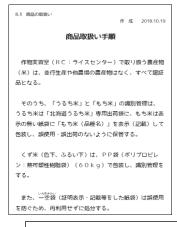


(4) フローから各リスク評価の作成



フロー図をもとに、その資材や投入物についてリスクを確認します。肥料や農薬については SDS・MSDS 等で安全性を確認し、投入したときの危害がないことを明確にします。

(5) インプットの分析と各作業手順書の作成





許管水準を満たしたもので、残留農業MRLが基準値未満、カドミウム含量が規格基準以下であり、農産物機直法に基づく農産物規格規定の規格(「水幅うるち玄米」…量目・荷造り及び包装・品位)を満たし、1等~3 等、規格外に等級がつけられ、検査規格に合格したものだけが出荷される商品となる。

検査機関での検査で、残留農業MRL・カドミウム合量 が基準値を超える場合は、栽培園場を特定し、その園場の 玄米は出荷せず、隣接園場の玄米を検査に出し、基準値未 満であることが確認できてから出荷する。





リスク評価をもとに作業手順、作業時の確認事項をまとめます。

(6) 保管文書、記録一覧表の作成

				作 成 2	019.05.0	
管理点	文書・記録名	作成	担当者	保管場所	保管年	
1,1	審査申込書	相馬				
1.1	圃場一覧、施設一覧		相馬			
1.2	圃場・施設図(レイアウト)	相馬		農場職員室	2 年分	
1.3	農場管理マニュアル	相馬	宮腰			
1.4~1.6	農場管理マニュアル管理記録		占胺			
2.1	組織表 (…周知)	相馬	校長			
2.1	責任者の担当・守備範囲 (…周知)	THAT	TXIX			
2.2/2.2.1	農場運営方針 (…周知)	宮腰	校長			
(Gr)2.3	内部監査 チェックリスト		相馬	農場職員室	2年分	
(GI)2.3	内部監査実施記録	相馬	TEIMS			
	. 経営者による見直し記録	THAT	校長			
3	HACCPベースの見直し記録		12,12			
(Gr)3.1/3.1.1. 3.4	/ 生産計画表	相馬	相馬			
3.2	作業日誌…しっかりファーム		仁平	農場職員室	2年分	
3.3	保管文書·記録一覧	相馬	相馬			
5.5	ASIAGAP 保管文書・記録ファイル	相馬				

作業手順書や各種リスク評価にかかわる 書類についても、いつでも確認できるよう 一覧表を作成しまとめておきます。

(7) モニタリング記録と作業記録用紙の作成

_												
	8.2.3 水分 穀粒水分モ		_	- k								
	圃場:				品種	:						
			※該当す	- る丸数字	:	マークを	記入					
	年月日	時間	乾燥	操機	ラジアルビン			米麦	コメント			
	4/70	加利印		□2		□②	□3	水分計	コヘント			

	7 570X 1 E.C. 7 CBD7													
	年月日		時間	乾燥	_		ジアルヒ		米麦	コメント				
					□2		\Box 2	□3	水分計					
	/	/	:		%			%	%					
	/	/	:		%			%	%					
	/	/	:		%			%	%					
	/	/	:		%			%	%					
	/	/	:		%			%	%					
	/	/	:		%			%	%					

リスクがあると考える物・事項に対し、日々の 記録をとれるようにしておきます。長期間大き な危害がなかった内容については重要度も 検証する必要が出てきます。

24.3.7 農薬使用の記録 24.3.7.1 農薬の使用適正に関する検証

作成 2019.8.25 改定 2019.10.7

農薬使用記録(2020年)

									注:計画通りの散布	のため、使用目的、	有効成分、例	E用時期、	使用方法は	省略																
																		R	A C	成	希釈	育苗:1.62a/棟当又 は育苗箱(1箱)当					農		.3.7.1 E者の検証	記録
日付	日付 使用場所 適用作物 商品名	商品名	種		分数	倍数	本田:10a当り	総使用薬量	総散布液量散布機	担当者	①I以	養前	②収穫復	後·出荷前																
							類	1 4	5X		単位当薬量					確認 サイン	検証日	確認 サイン	検証日											
															ĺ															
		①農薬使用計画と色 取している								③取引先及び地域の農 薬使用基準を満たして																				
													②農薬使用基準を満 いる たしている																	
														検証項目	(24.2.1)															